

リサーチ・アドミニストレーター協議会
第1回年次大会

「私大の研究力強化への 新たな取り組みⅡ」

2015.9.2 13:20-14:50

信州大学長野キャンパス 小会場B1

モデレーター 関西大学 角谷賢二

私立大学ではURAは可能か？

- URAの組織化は進めたいが、資金がない。
- 研究力も高めたいが、従来の伝統の壁を破れない。
- 産学連携の組織がすでに存在し、そことの連携が難しい。
- 研究者は1匹オオカミ的存在で連携が苦手である。
さらに、URAの下手な口出しは、好まれない。
- 私立大学では、経営のほとんどの資金を学生の授業料から引き出している。資金は、学生の大切なお金である。そんなお金がURA採用のため使うことができるか？
- 国立大学のURAシステムは規模が大きくお手本にならない、私立大学ではどう展開すべきかを知りたい。

「私大の研究力強化への新たな取組Ⅱ」

～国公立との違い、私大だからできるユニークな取組～

概要

- 日本の大学の77%、大学生の73%を擁する私立大学は、日本の高等教育の不可欠な存在です。また、大学の使命の一つである「研究」の活性化を推し進め、イノベーションの芽を育む研究力を強化することが強く求められており、そのためには研究者がより研究活動に専念できる研究推進支援体制を整備することが重要です。
- このセッションでは昨年に引き続き幾つかの私立大学における独自の研究推進体制、URA組織、その活動などを紹介し、私立大学の研究力強化への期待、ユニークな取組等について議論します。このセッションが多くの機関にとっての研究推進支援体制の構築、個々のURAの資質の向上の一助になれば幸いです。

2014年度の発起大学

：東海大学、早稲田大学、同志社大学、関西大学

URA活動を通して 私大セッションのゴール

- 私立大学の研究力を強化すること
- 私立大学の改革（経営力強化・組織改革/
職員力強化等）を推進に資すること
- そのために私立大学においてURAを置く
大学が増えること

リサーチ・アドミニストレーターのレベルアップから
組織の研究力強化へ

学内研究資金をどう生かすか？

～事務局としての課題～

- **渡邊道彦**
(東海大学 研究推進部 研究計画課 事務職員)
- 東海大学工学部卒業。2010年学校法人東海大学に事務職員として採用され、研究支援・知的財産本部（現研究推進部）に配属。学内インキュベーション施設の管理事務や安全保障貿易管理関連業務を行った後、学校法人東海大学総合研究機構事務担当となり、大学内の研究関係施策等を中心に業務に従事。

私立大学の研究力向上にむけて

—URA 制度の定着化はキーとなり得るか—

- **石田貴美子**

(同志社大学研究開発推進機構URAセンタURA)

- 株式会社村田製作所にて国際・購買関連業務を経験後、シンガポール大手ローファームにて日系企業の相談窓口を担当。帰国後、2006年より立命館大学リサーチオフィスに勤務、7年半産官学連携の実践をたたきこまれる。2013年度より同志社大学リサーチ・アドミニストレーションセンター設置にともない、URAとして勤務開始。現在は外部資金拡大を中心とした業務に従事。伝統とブランド力重んじる組織下で新たな取組みを推進できるかが活動のキー。

研究支援マネジメントの確立に向けて —外部資金申請事例からの提言—

- **田中 有理**
(中央大学研究推進支援本部URA)
- 関東の私立大学にて研究支援類似職を経験したのち、文部科学省「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」採択校にURAとして勤務、その後現職。現在は、中大のファーストペンギンになるべくあちこち奔走する日々を過ごしています。

順天堂大学大解剖

～医療系研究支援の実際、教えます～

- **高野秀一**

(順天堂大学 研究推進支援センター 大学リサーチ・アドミニストレーターURA)

- 国立の研究所と大学にて10年ほどの生命系研究活動を経たのち、渡米。その3年間のポスドク勤務中に知った米国医学系大学の合理的な研究推進支援の数々に感化され、研究者を支援する道を決心しました。帰国後、大学や製薬企業などの研究所の設備や建築設計を担う民間企業にて研究支援の修行を積み、研究者が快適に研究できる環境や仕組みを提案できるまでに至りました。順天堂大学では、この経験とスキルを十分に活かすことができる業務に携わり、現在、4年目をむかえました。これからも学内の研究者が少しでも研究活動に専念できるよう、研究推進支援センター26名の仲間とともに活動していきます。

URAとしての文理融合のプロジェクト支援

-私学ならではのイノベーション対話プログラム-

- **井上和哉**
(関西大学研究支援グループ事務職員)
- 2003年、関西大学事務職員として企画調査課に配属。諸規程の整備や中長期計画の策定に関する業務に従事。2006年に研究支援課に配属。グローバルCOEや私学助成等の申請支援を行う。2010年より2年間文部科学省に出向、国の産学連携関係施策に携わる。その後、関西大学に戻り、URA体制の構築に携わり、自身もその一員として外部資金の申請支援、国の施策動向の収集等を主な業務としています。

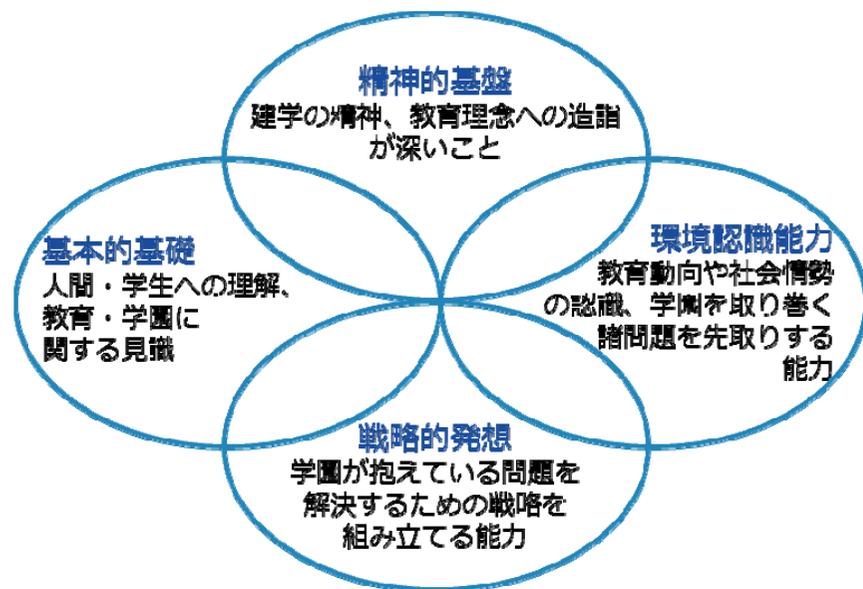
学内研究資金をどう生かすか？ ～事務局としての課題～

東海大学研究推進部研究計画課

渡邊 道彦

大学職員としての目標

東海大学職員指針



URA想定業務内容

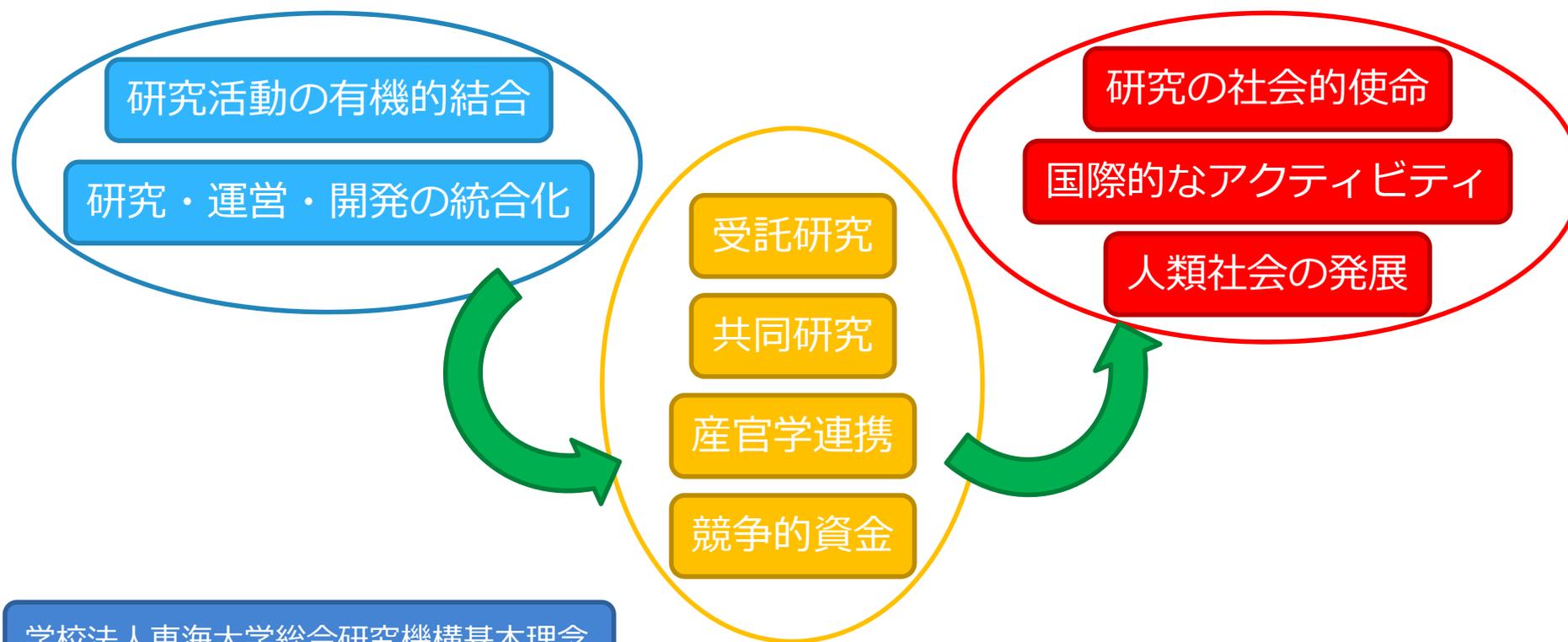
(1) 研究戦略推進支援業務 (リサーチ・ディベロップメント関係等) (3業務)	
① 政策情報等の調査分析	
② 研究力の調査分析	
③ 研究戦略策定	
(2) プレ・アワード系想定業務 (5業務)	
① 研究プロジェクト企画立案支援	
② 外部資金情報収集	
③ 研究プロジェクト企画のための内部折衝活動	
④ 研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整	
⑤ 申請資料作成支援	
(3) ポスト・アワード系想定業務 (5業務)	
① 研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整	
② プロジェクトの進捗管理	
③ プロジェクトの予算管理	
④ プロジェクト評価対応関連業務	
⑤ 報告書作成業務	
(4) その他業務 (9業務)	
① 連携支援業務(教育)	産学連携ジャーナル2013年7月号
② 連携支援業務(国際)	「集中連載●日本流リサーチ・
③ 連携支援業務(企業)	アドミニストレーター像を探る
④ 発明開示関連業務	URAのスキル標準がもたらすも
⑤ 研究機関としての発信力強化推進	の業績の評価、業種確立、人材育
⑥ 広報関連業務	成への貢献に向けて」より抜粋
⑦ イベント開催関連業務	https://sangakukan.jp/journal/journal_contents/2013/07/articles/1307-05-2/1307-05-2_article.html
⑧ 安全管理関連業務	
⑨ 倫理・コンプライアンス関連業務	

□各大学の研究力強化，研究推進体制は？

- ① **教員**の研究力＋**事務職員**の研究推進力＋**専門人材(URA)**
 - or② **教員**の研究力＋**事務職員**の〃＋**専門人材(CN, PM, TP等※)**
 - or③ **教員**の研究力＋**事務職員**の研究推進力
- ≡ **教職RA協働**or**教職協働**or**教職専協働** ※専門(シニア, ,若手)

学校法人東海大学総合研究機構

1976年 学校法人東海大学に設立



学校法人東海大学は、多様な価値観の混在する時代にあって、地球生命圏の一員として未来を志向した思想を培い、本学が希求する人と社会と自然が共生できる新しい文明社会の実現に貢献するための自由で活発な研究活動を積極的に推進することを目的に、ここに普遍的な「総合研究機構基本理念」を定めるものである。

人類の平和と福祉に貢献することを志向するものとして、そして社会に貢献する義務を担うものとして、自由で活発な研究を推進し、適正な研究環境を維持・創造するために法令遵守の精神を尊び、厳正な研究倫理を培い、闊達な研究活動を奨励・推進する。

また、積極的に社会貢献を果たすために、健全な産官学連携の活動を推進し、広く開かれた国際連携の活動を推進する。

さらに、研究を通じて生み出された全ての知的財産を尊重すると共に、このような理念に基づく研究活動を教育に反映させ、社会の期待に応える人材の育成を目指す。

総研主な施策（学内グラントとして）

プロジェクト研究

大型外部研究費の獲得を目指す共同研究グループの形成と活動を支援

（応募）約30件→（採択）約5件

研究奨励補助計画

45歳未満の若手研究者による優れた独創的な研究を支援

（応募）約40件→（採択）約20件

研究スタートアップ支援

新規採用教員の研究環境構築やその研究を支援

（応募）約10件→（採択）約10件

商品開発助成

東海大学発をアピールできる産学共同開発の製品開発を支援

（応募）約5件→（採択）約1件

研究集会補助計画

研究者が主催責任者等となるシンポジウムなどの開催を支援

（応募）約40件→（採択）約40件

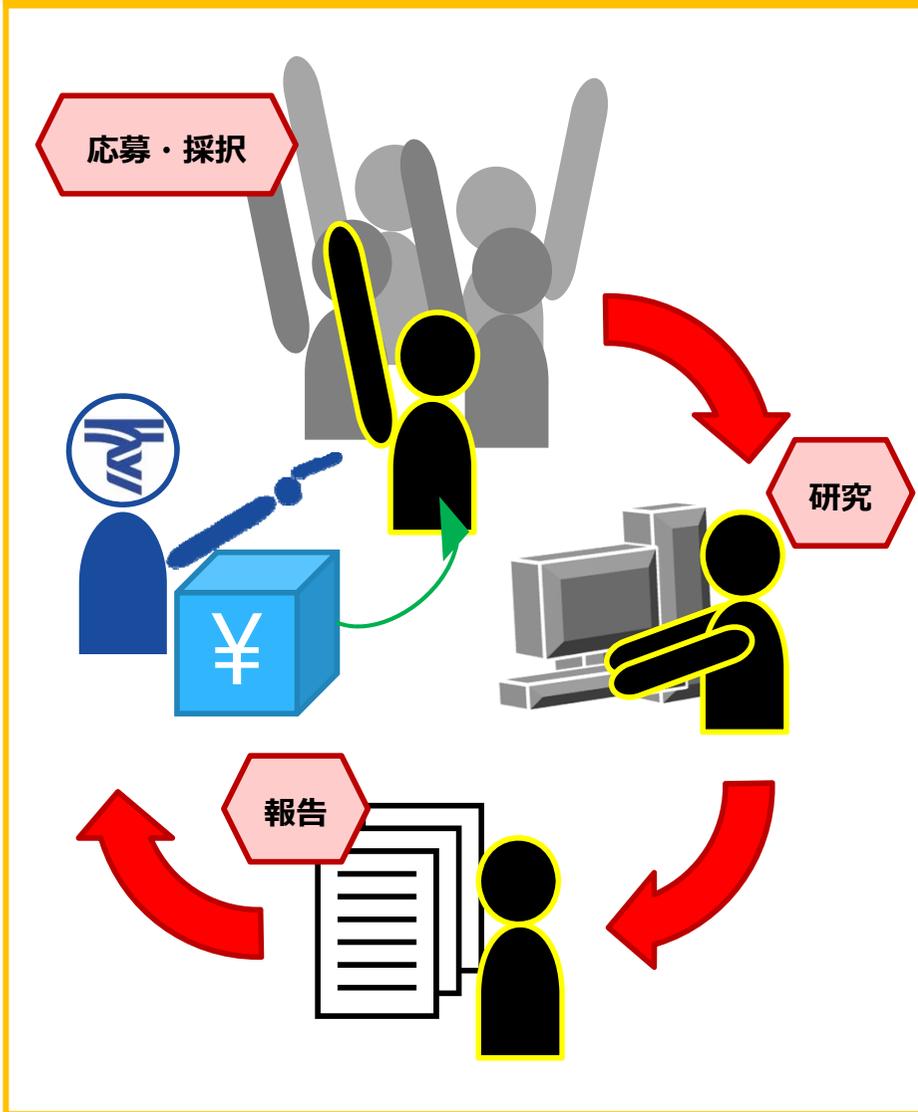
学術図書刊行費補助

研究者がその研究成による書籍等を発行する際の製作費を支援

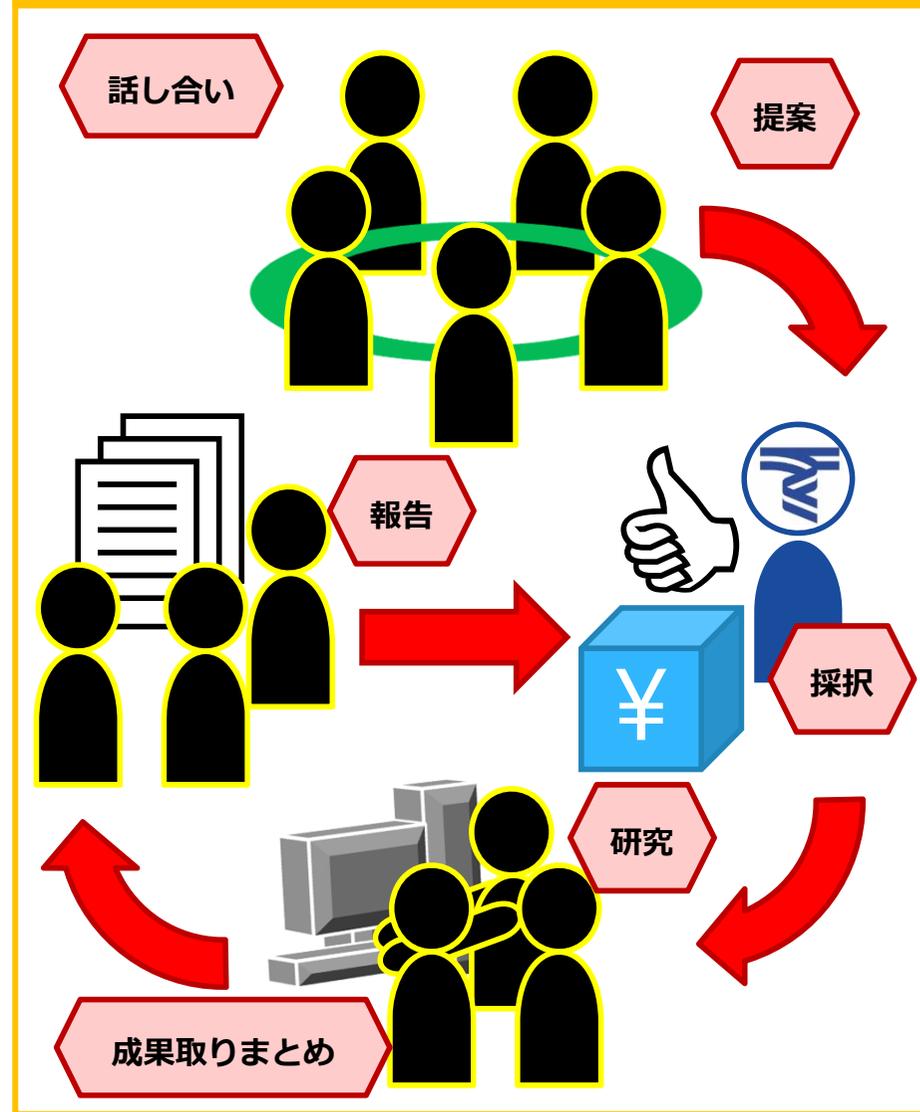
（応募・採択）若干数

研究費の提供 これまで…

セリ方式

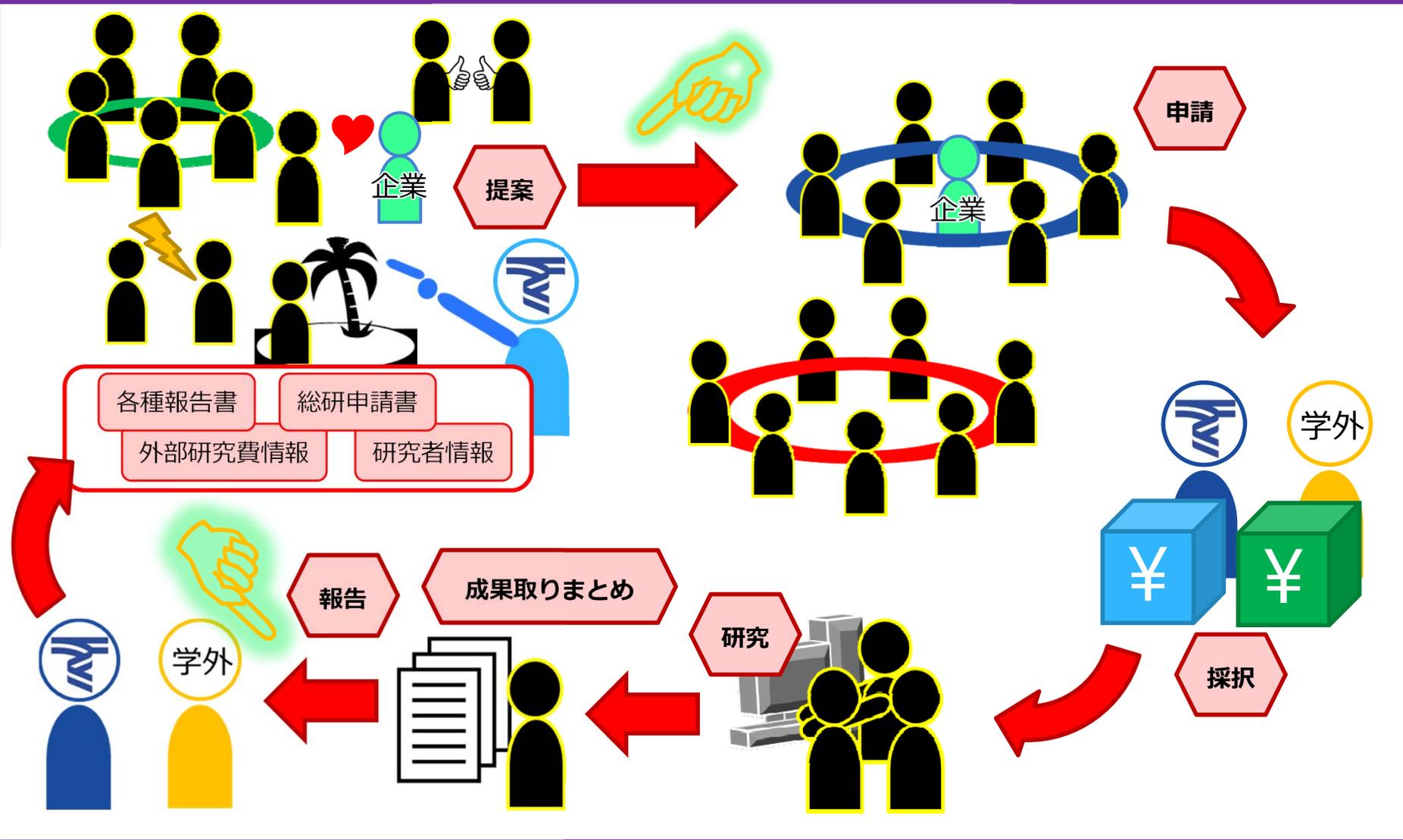


グループ提案方式



研究費の提供 これから...

URA取りまとめ方式



「研究交流会」と「入学広報」

研究交流会

研究の峰形成
 本学の持つ多様な研究分野の下、文理を問わない異分野融合研究や単独の研究では進めきれない新たな研究テーマを創出するための研究交流会を開催いたします。この交流会では、ポスター展示や全校会館配付も実施するショート・プレゼンテーションを通じて、研究テーマを二局併置き、広く学内外の有志者との交流を図る機会と各大学を一目見せたいという思いを込めて開催いたします。出展されている方は、ご参加ください。また、新たな研究交流のために、ご興味をお寄せの方は、ぜひご参加ください。

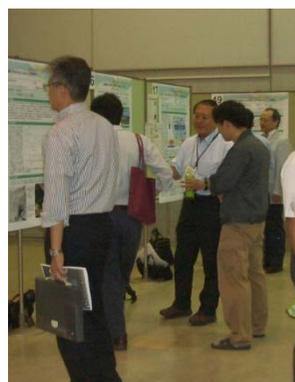
●ポスター展示
 日時：2015年8月21日（金）11:00～8月27日（木）19:00
 会場：湘南校舎17号館2階 ネットスペース
 内容：出展者の研究内容に関するポスター掲示
 期間中の12:00～13:00はポスター立会日として、説明員が配属されております。（ポスターごといずれか1日）
 ※期間中は、9:00～19:00（21日（金）は11時開始）に会場を開放しております。なお、8月22日（土）・23日（日）については、終日閉場となります。

●ショート・プレゼンテーション
 日時：2015年8月24日（月）12:30～18:00
 会場：各クラスホール 高棟：1203学生会館
 代々木：4103教室 低棟：本部 6階 中会議室
 高 輪：1-2会議室 阿蘇：2号館 2階 2204
 伊勢原：6号教室 札幌：M121会議室
 ※湘南以外の校舎は、TV会談での配信となります。
 内容：展示ポスター内容の紹介（1課題あたり3分）

●出展テーマ数：全58件
 出展テーマの詳しい情報や立会日は、研究推進部HPでご覧いただけます。また、交流会で展示されるポスターを公開いたしますので、来場が難しい方はぜひご覧ください。

詳しくは、研究推進部HPをご覧ください
<https://www5.tsc.u-tokai.ac.jp/auth/faculty/campus/ckensui/kouryukai.html>
 ※教職員ポータルID・PWが必要です

共同社会 情報文化科学研究推進研究計画 担当：奥山・津島
 P.M.：720-4709・4710
 E-mail：tokai-ipc@ipc.tsc.u-tokai.ac.jp



教員同士が知り合う“キッカケ”を提供

個人研究をグループ化

大型外部資金への足掛かりに

入学広報

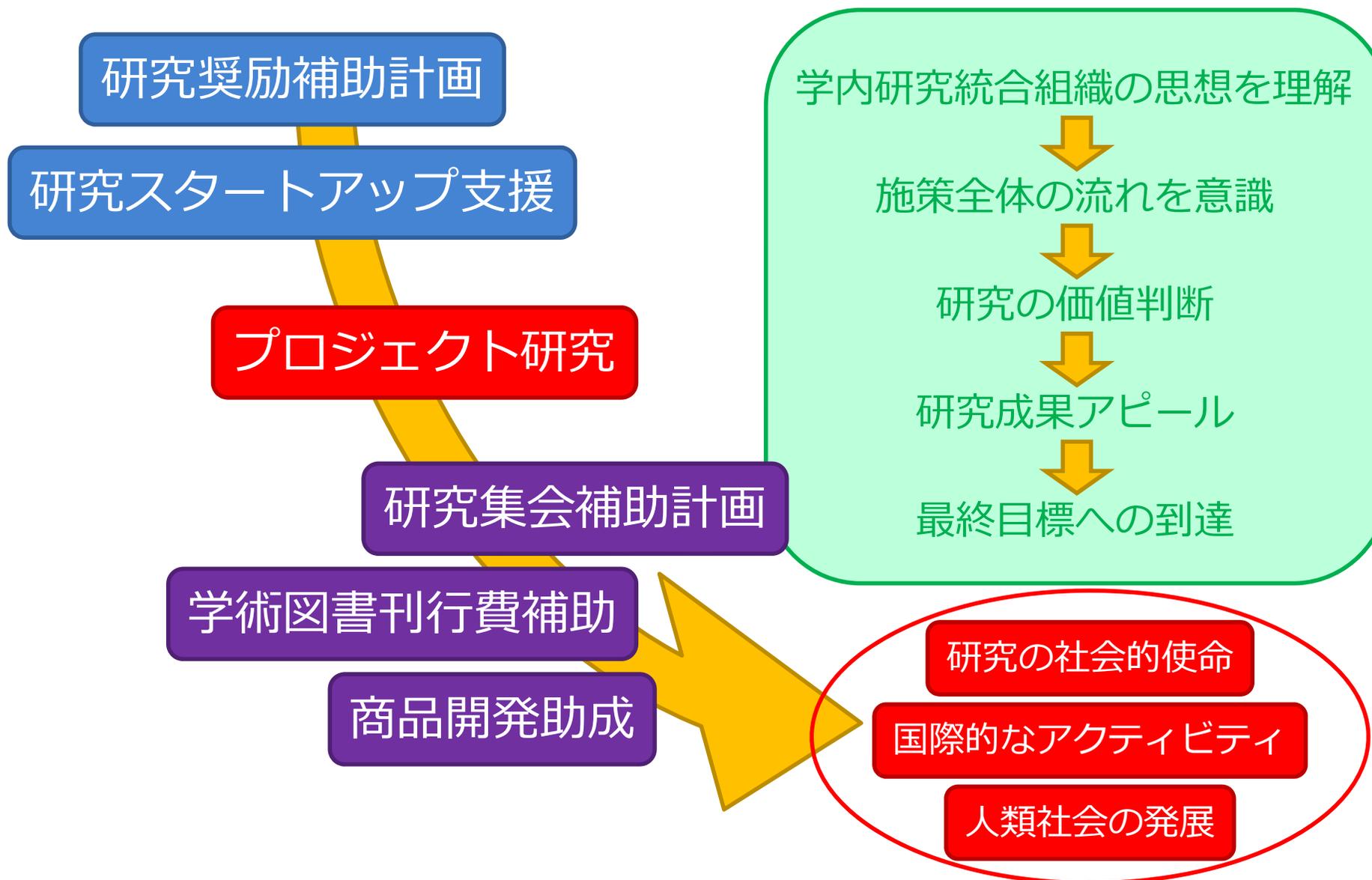


事務職員としての入学広報

高校生の新たな“興味”創出

“入学”が大学経営への貢献

総研の理想



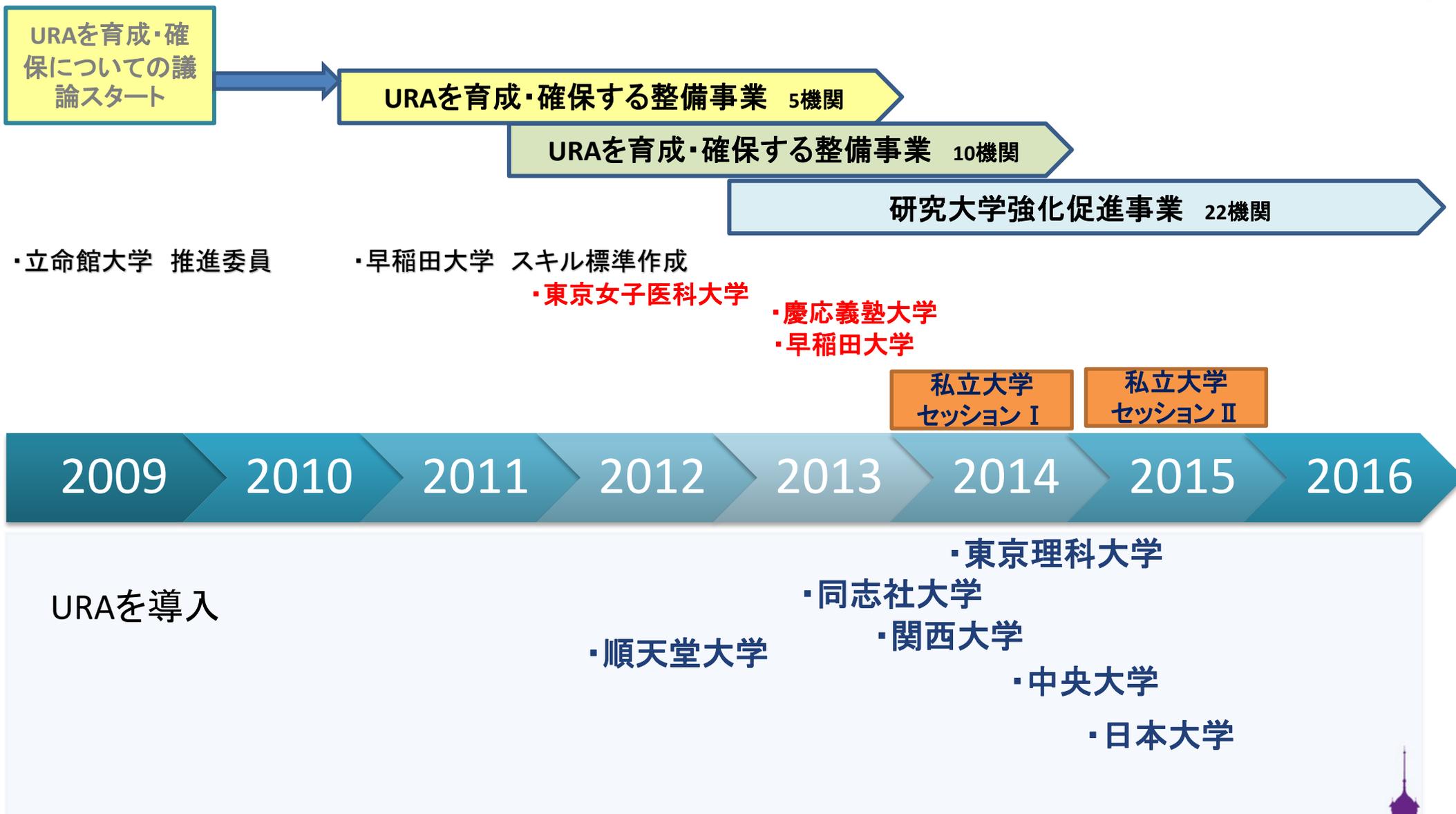
ご静聴ありがとうございました

私立大学の研究力向上にむけて －URA制度の定着化はキーとなり得るか－

同志社大学
研究開発推進機構
リサーチ・アドミニストレーションセンター
URA 石田 貴美子

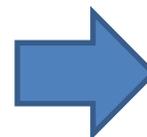


◇ 私立大学URAの歩み



◇ 私立大学URA組織の特徴

国立大のURA組織



- ・研究戦略型
- ・部局支援
- ・大型資金事業特化

大学運営改革と直結

- ・IR 広報 プレ・ポスト
専門分野

URA組織の権限とリーダーシップ

自己資金型私立大学のURA組織



- ・事務機能融合型
- ・支援組織強化型

自前である以上
ある意味お試し
期間

研究支援体制の見直し、、、

- ・何でも屋

従来の一元化された産学連携組織へ少数のURAが配置

まず従来組織への提案力



外部資金獲得金額の増大が使命→
科研費UP!!大型競争的資金獲得

◇ 私立大学URA組織の特徴

本日の5私立大学は

	関西	東海	中央	順天堂	同志社
学部数	13 学部(法、文、経済、商、社、政策、外国語、人間健康、総合情報、社会安全、システム理工、環境都市、化学生命)	23 学部(文、観光、政経、総経、経営、法、教養、国際、理、情報理工、情報通信、工、芸工、産工、基工、開工、海洋、生理工、生物、農、体育、医、健康)	6 学部(法、経済、商、理工、文、総合政策)	5 学部(医、スポーツ健康、医療看護、保健看護、国際教養)	14 学部(神、文、社、法、経済、商、政策、文化情報、理工、スポーツ健康、心理、グローバルコミュニケーション、グローバル地域文化)
教員数	専任 753	専任 1,691	専任 705	専任 1,519	専任 797
職員数	事務系 481	事務系 701	専任 414	事務系 605	専任 343
学生数	学部 28,642 大学院 1,760	学部 29,025 大学院 1,036	学部 25,080 大学院 1,868	学部 3,474 大学院 772	学部 26,733 大学院 2,197
経常費補助金 (H26)	3,609百万円 (12位)	6,475百万円 (4位)	2,760百万円 (22位)	5,621百万円 (5位)	3,147百万円 (14位)
科研費配分額 (H26)	406百万円 (73位)	520百万円 (53位)	358百万円 (81位)	707百万円 (36位)	518百万円 (54位)
私立大学戦略的 基盤形成事業 (H23~27)	10拠点	3拠点	1拠点	9拠点	7拠点

◇ 私立大学の研究力

H26年度研究者登録件数と科研費への応募件数

区分	研究者登録数 ①	新規応募件数 ②	比率 (②/①)
国立大学	82,392	48,194	58.5%
公立大学	16,652	7,408	44.5%
私立大学	115,954	29,344	25.3%
その他	55,211	11,582	21.0%
計	270,209	96,528	35.7%

H26年度研究機関種別に見た採択の状況(件数・金額)

区分	採択件数	比率	採択金額	比率
国立大学	14,521	55.8%	402億円	64.3%
公立大学	1,921	7.4%	35億円	5.6%
私立大学	6,637	25.5%	114億円	18.2%
その他	2,924	11.2%	74億円	11.9%
計	26,003	100%	625億円	100%

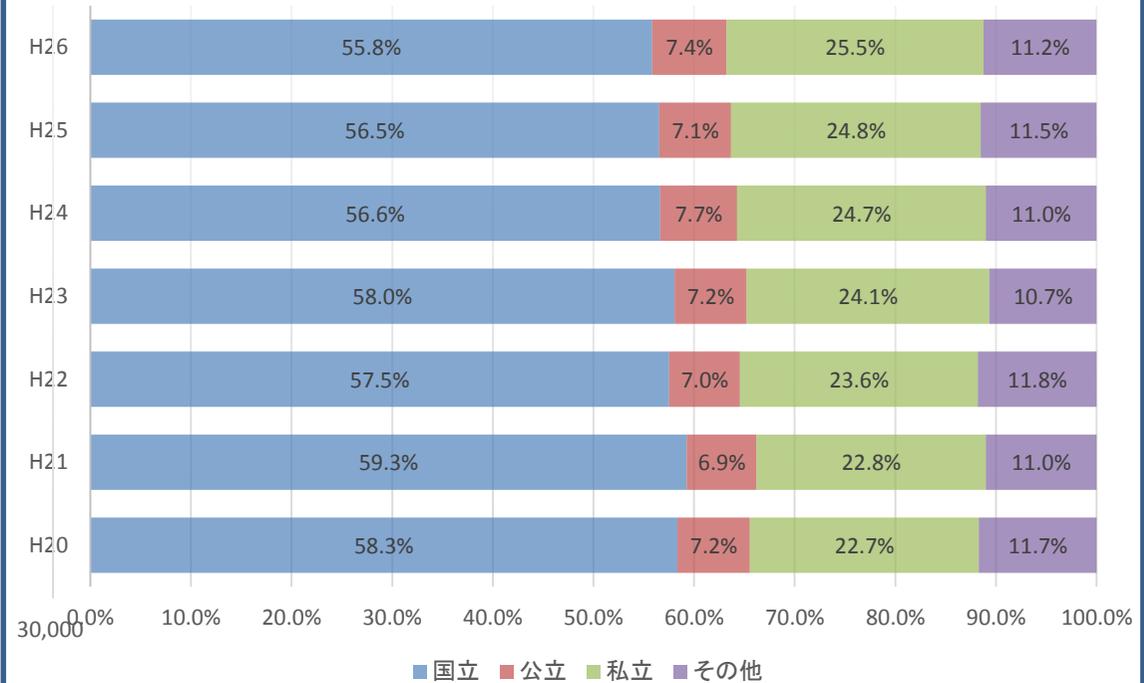
◇ 私立大学の研究力

文部科学省平成26年度科研費(補助金分・基金分)の配分状況等について(概要)

研究機関種別に見た新規採択件数の状況



研究機関種別の新規採択件数シェア



国立大学の科研費採択件数シェアは減少傾向(平成26年度は55.8%)

私立大学は増加傾向(26年度は25.5%)

採択件数の増加率(H20年比)国立大学26%に対して、私立大学は48%

◇ 私立大学の研究力

文部科学省平成26年度科研費(補助金分・基金分)の配分状況等について(概要)

平成26年度私立大学科研費ランキング(新規+継続)

順位	機関	件数	シェア
1位	慶應義塾	994	14.9%
2位	早稲田	929	13.9%
3位	日本	584	8.8%
4位	立命館	490	7.4%
5位	順天堂	421	6.3%
6位	東海	371	5.5%
7位	近畿	358	5.4%
8位	東京理科	318	4.8%
9位	北里	293	4.4%
10位	明治	280	4.2%
11位	同志社	276	4.1%
12位	関西	260	3.9%
	私立合計	6,637	100%

上位5機関
で50%

教員数や
規模が問
題なの？

伸び率(H20年比)
48.1%
69.2%
46.4%
78.2%
170%
88.3%
100%
47.2%
131%
59.5%
65.6%

科研費のテコ入れ
をした大学が上位
へ！

同志社大学はH25
年度までは科研
費向上の取組み
をしていなかった。

➡ H27年度
337件へ



細目別採択件数上位10機関にランクインした件数(過去5年間累計)

順位	機関	件数
1位	早稲田	89
2位	慶応義塾	69
3位	立命館	41
4位	順天堂	24
5位	日本	23
6位	北里	18
7位	明治	17
8位	同志社	15
9位	東京理科	14
10位	関西	13

科研費の採択結果を研究力の1つの指標としてみるならば、..

同志社大学の強みの研究
 ・英米・英語圏文学
 ・機械材料・材料力学
 ・化工物性
 (私大で採択件数がトップ)

G30+が最高評価だったのに、「外国語教育」の研究が弱い
 採択率が高いのに法学部に「社会法学」の研究実績がない

弱みを可視化して 学部・教員と対策を検討

◇ URA制度を導入して大学の研究支援は変わったのか？

◆教員の【苦手】を支援

学内外の異分野研究者との連携

◆プロジェクト形成に足りない研究者、領域を確保

学内外の研究者や企業にアプローチ

◆関連する学外資金を提案

マッチする事業を提案

◆ポストアワードに介入

企業連携、広報活動

当たり前の研究支援だが、機関や組織の文化や性質によって、阻害要因も。。。

私立大学の研究支援体制にURA機能が必要なのか、、と時々思うことも

◇ URA制度を導入して支援体制をは変えられるのか？

◆URA制度の導入で、研究支援組織に化学反応？

教員	制度の批判→	URAをつかってみようかな
従来組織	客観的な評価で大学の実態を知る	
URA	実績に結びつける提案を行う	

◆それでも やっぱり お試し期間

事務体制をかえずにURA導入だけでは限界

私立大学のURAも大学改革のトリガーでなくてはならない

有期の雇用期間内が勝負

初期雇用者の任期満了でなくなる制度であってはいけない

既存組織も意識改革

URAがよい結果を導くことは、これまでの支援体制が悪かったのでは決してない

◇ URA制度を導入して支援体制をは変えられるのか？

変えない・変わりたくない大学の気質 → 変わらなければ

- 同志社大学URAは現時点では産学CDと職務が2分されていて 産学連携はテリトリー外
- 2016年度はURAセンターの廃止がきまっている



- 発足2年で体制構築
- 組織構築へのグッドプラクティス提案も

◇ 私立大学にURA制度を定着させるためには

- 私立大学の研究力向上には**URA機能の定着**は重要
- URA **提案力**が必要→
組織・執行部・研究者・事務スタッフ
- 機関全体がかかわろうとする力が必要
事務組織・産学CD・URAがそれぞれのミッションと
役割を定義し、理解する体制構築が重要



目標が同じであることとミッションの違いの理解の上で
情報共有できること！

ご清聴ありがとうございました。

同志社大学 リサーチ・アドミニストレーションセンターへの お問い合わせ

同志社大学
研究開発推進機構 リサーチ・アドミニストレーションセンター
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
TEL 0774-65-8257
E-mail jt-ura@mail.doshisha.ac.jp

研究支援マネジメントの確立に向けて -外部資金申請事例からの提言-

RA協議会第1回年次大会 @信州大学
U-14 私大の研究力強化への新たな取組Ⅱ
(モデレーター：関西大学)

2015.09.02
中央大学研究推進支援本部URA
田中有理
(tanaka@tamajs.chuo-u.ac.jp)

※この文章はあくまでも個人的な見解であり、組織の見解を示すものではありません。

はじめに

1. Practice

- 人社系外部資金申請支援の事例

2. まとめと課題



はじめに



文系5学部

理工系1学部

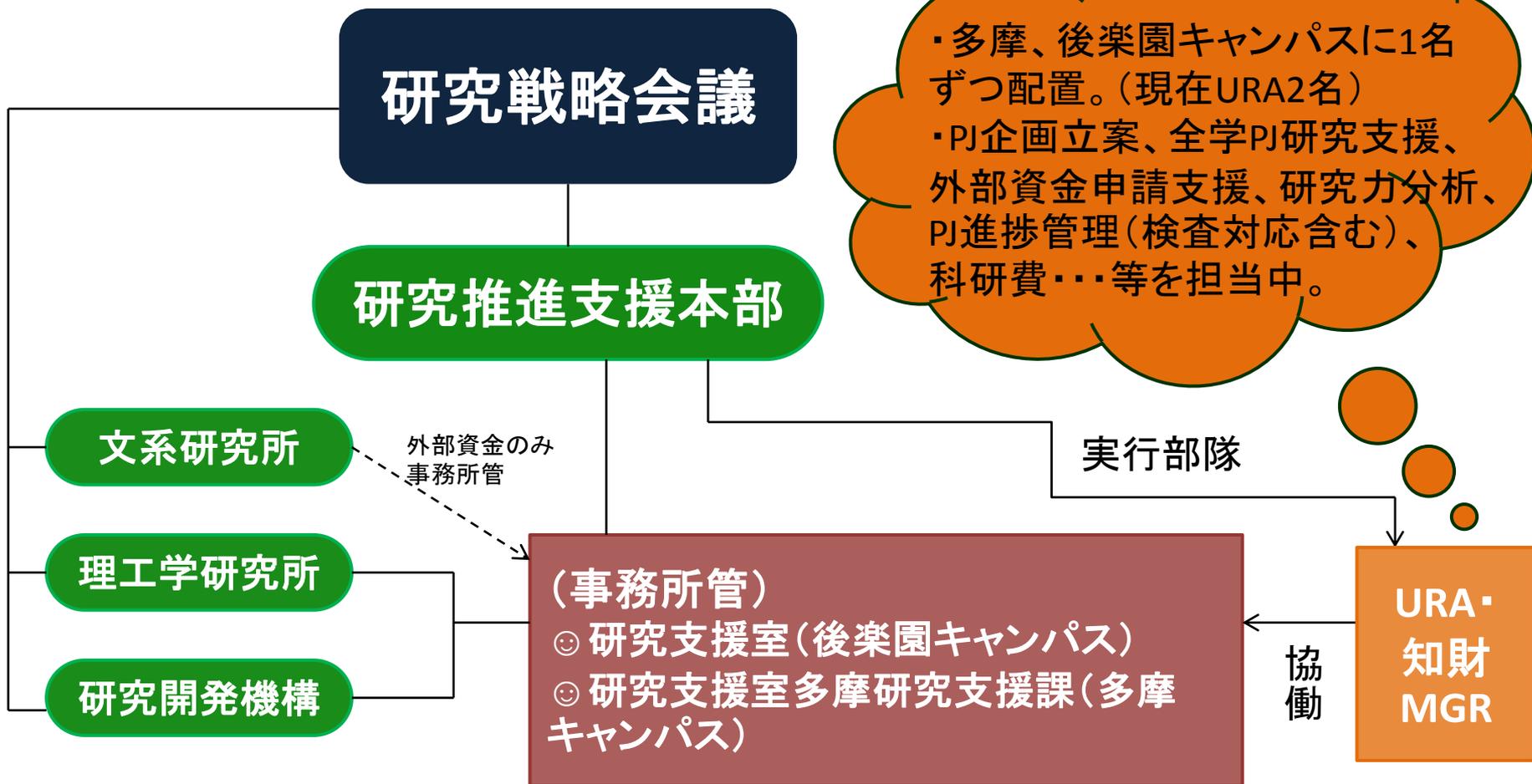


- ・数学科
- ・物理学科
- ・都市環境学科
- ・精密機械工学科
- ・電気電子情報通信工学科
- ・応用化学科
- ・経営システム工学科
- ・情報工学科
- ・生命科学科
- ・人間総合理工学科

項目	人数(概算)
学生数(学部生)	25,000人
大学院生数	1,200人
専門職大学院生数	800人
文系教員数	520人
理工系教員数	220人

- ☺ 文系キャンパスと理工系キャンパスは別キャンパス(距離約1.5時間弱)
- ☺ 医学部、薬学部、農学部等はない
- ☺ 圧倒的に人社系教員の多い構成(約2倍以上)

研究推進支援体制(一部省略)



研究支援室のお仕事
全学規模で実施する研究PJ／産学官連携／知的財産の管理・活用／外部資金・学外助成金／研究ユニット／事業計画及び予・決算／研究及び調査の成果並びに資料の刊行／国際シンポジウム、研究会等／研究業績の作成・維持・発信／研究用図書・資料／研究用機器／研究・調査等の補助／学術交流／発明委員会・・・など

2.まとめと課題

組織の一員として、URAとして

申請して思ったこと

	(1)研究戦略推進支援業務			(2)プレアワード業務				(3)ポストアワード業務				(4)関連専門業務											
	政策情報等の調査分析	研究力の調査分析	研究戦略策定	研究PJ企画立案支援	外部資金情報収集	研究PJ企画のための内 部折衝活動	研究PJのための体外折 衝・調整	申請資料作成支援	研究PJ実施のための対 外折衝・調整	PJの進捗管理	PJの予算管理	PJ評価対応関連	報告書作成	教育PJ支援	国際連携支援	産学連携支援	知財関連	研究機関としての発信力 強化推進	研究広報関連	イベント開催関連	安全管理関連	倫理・コンプライアンス 関連	
研究推進支援本部			◎	○		○								—	◎								
事務職員(本学)			○			○		○	○	○	◎			—		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
知財マネージャ														—			◎						
URA(本学)	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	—		○		◎	○	○		○	

ここ本学の特徴

ここURA重要

※業務は、リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備(スキル標準の作成) 成果報告書「表1. リサーチ・アドミニストレーターの業務内容」より引用

理想のURA像(田中の)

- 様々な大学において、様々な形のURAが存在する(これっていうものはないかも)
- しかし、どの大学においても、URAは、プレアワードから研究(者)に関わっていくことが出来るはず(いかに戦略的に物事を進めて行かかが重要)※これまだ大学の中で誰もやっていない部分では？いつ、どうやってやるかはURA個人の活動に寄るところが大きいのでは？ (=URAのスキルアップに繋がるはず)

主なパフォーマンスと結果（無印は関与なし）									
	ヒアリング	研究課題の把握	公募情報収集、過去採択課題のまとめ	科学技術政策等との方向性確認	パンチ絵作成、修正・補足	FA、ステークホルダーとの連絡・調整	研究発表会、公募説明会への参加	学内調整	申請書作成・チェック
研究推進支援本部									
事務職員							○		
URA	○	○	○	○	○	○	○	○	○
研究者					○	○	○	△	○

1. これからの課題

- 仕込みの時期（今回はかなり遅かった）
- チームでの研究支援体制の構築（研究者とは◎、組織に合致した形での体制で支援）
- 自分が行った一連の支援に対する評価や蓄積に対するしくみ作り

2. 今後URAとして取り組みたいこと

- URA間での情報共有
- FAと意見交換できるような場を作る（現場の声と、資源配分機関とでどこに重点的に効果的に資金を投入すべきかを考えたい）
- URAの「成果」とはどのようなものかの検討
- アンテナ！



U-14 私大の研究力強化への新たな取組 II

順天堂大学大解剖

～医療系研究支援の実際、教えます～

平成27年9月2日

順天堂大学 研究推進センター

高野 秀一

学是

仁

人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心。これ即ち「仁」

理念

不断前進

現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける姿勢のこと

医師として最善の医療を提供するため努力し、患者さんやご家族の思いや苦しみを理解する心・感性をもつ人を育成していくこと

この理念は、自由な競争環境にこそ活気ある教育研究活動が展開されるという建学の精神を伝承し、旧設医大の中で全くといってよい程に学閥がなく、優秀な人材であれば出身校を問わず任用するという学風が確立されています。順天堂に集う者すべてが、この学風を理解し享受し、自己研鑽と競争原理と相互信頼のもとに順天堂人としての連帯感が涵養され、高い倫理観に基づく教育研究が実践されています。



順天堂大学の基本情報

本郷・お茶の水キャンパス 順天堂医院
・医学部、国際教養学部、3大学院研究科



練馬病院



順天堂越谷病院



三島キャンパス
・保健看護学部



さくらキャンパス

・スポーツ健康科学部
(医学部、医療看護部)



静岡病院



**順天堂東京江東
高齢者医療センター**



浦安病院



浦安キャンパス

・医療看護学部



順天堂大学の基本情報

• **5学部** 医学 スポーツ健康科学 医療看護学 保健看護学 国際教養学

• **3研究科** 医学 スポーツ健康科学 医療看護学

• **10研究センター／研究所**

アトピー疾患研究 老人性疾患病態・治療研究 感染制御科学研究
環境医学研究 ゲノム・再生医療 疾患モデル研究
研究基盤(共用実験施設) スポーツロジック研究
スポーツ健康医科学研究 女性スポーツ研究

• **学生数** 4,246名

• **常勤教員数** 1,519名

• **創立177周年(天保9年・1838～)**



順天堂大学の教育と研究の歴史

・ 蘭方医学塾「和田塾」



初代堂主 佐藤泰然

天保9年(1838年)、初代堂主・佐藤泰然が江戸薬研堀に創設(現:中央区東日本橋2-6-8)。この年を順天堂開学の年とする。

・ 大学大博士



第2代堂主 佐藤尚中

明治2年(1869年)、第二代堂主佐藤尚中は文部省「大学大博士」を拝命。大学東校(東京大学医学部の前身)の最高責任者。明治3年、学則を定める。

出典(酒井シヅ、本学特任教授・日本医史学会前理事長)。



順天堂大学の教育と研究の歴史

・ 日本人初の医学博士

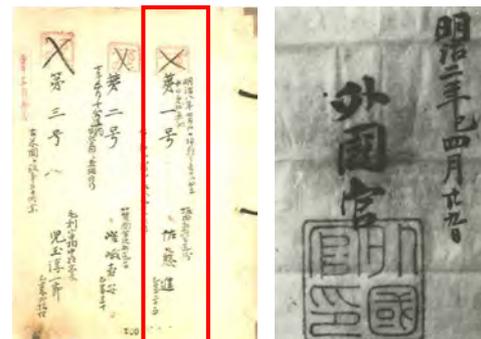


第3代堂主 佐藤進



医学博士(1874.8.10)

明治2年(1869年)、明治政府の公式旅券第一号を得て、ドイツ・ベルリン大学に留学。明治7年(1874年)、日本人として初の医学博士の学位取得。明治8年、日本最古の医学雑誌「順天堂醫事雑誌」を発行。



公式旅券第一号

出典(酒井シヅ、本学特任教授・日本医史学会前理事長)。



教育と研究の新しい取り組み

- 日本医学教育歴史館（順天堂大学）



開館日 毎週 火曜日・木曜日
 開館時間 ①午後1時からの部：午後1時～午後2時
 ②午後2時からの部：午後2時～午後3時
 入館料 無料(要予約)

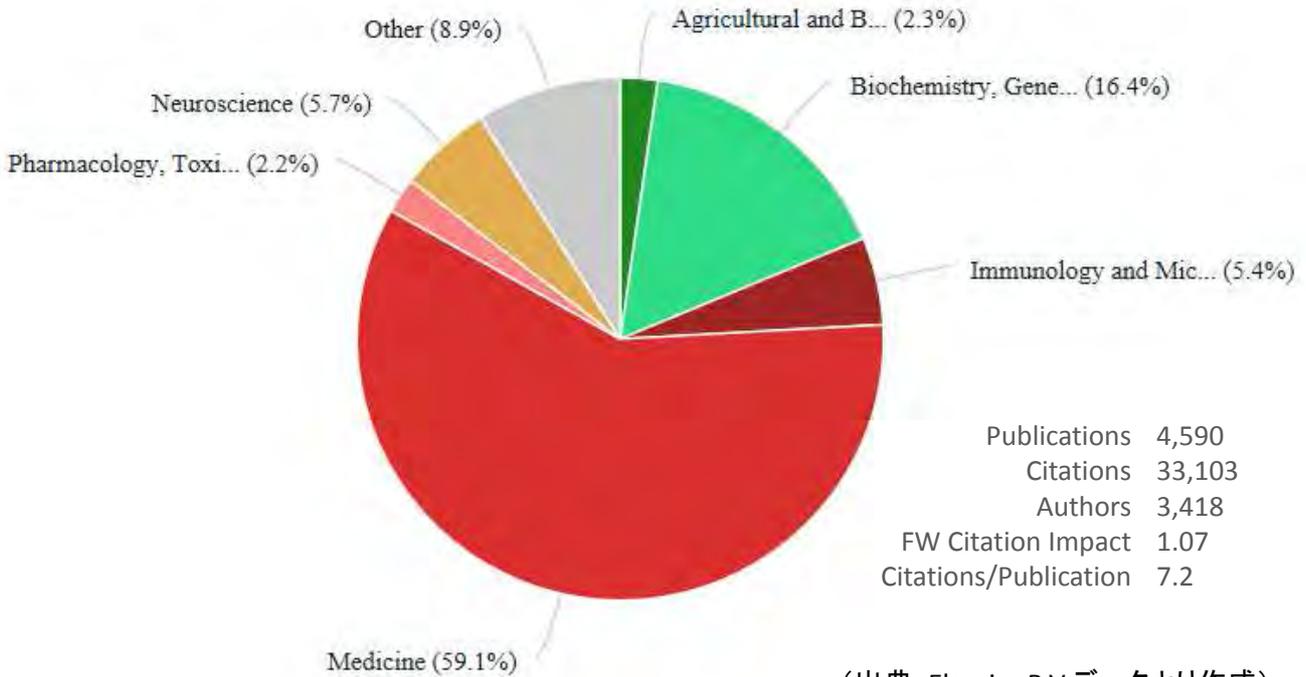


順天堂大学の教育の結果

- 医師国家試験合格率 **全国1位**（平成27年、99.1%）
 過去 5年間平均 3位／80校（国公立大学）
 10年間平均 2位／80校（国公立大学）
 20年間平均 2位／80校（国公立大学）
- 看護師国家試験合格数 **全国1位**（平成27年、医療看護学部）
- 保健師国家試験合格数 **全国1位**（平成27年、医療看護学部）

順天堂大学の研究の状況 (2010-2014)

・ 9割が医学／ライフサイエンス関係の論文



(出典: Elsevier B.V.データより作成)

臨床医学分野で私立大学が目立つ

概要図表 9 全体および分野別の論文数とTOP10%補正論文数の主要組織区分構造
【分数カウント法】

2001-2003年から 2011-2013年への 変化	論文数			
	日本全体	第1組織区分	第2組織区分	第3組織区分
全体	↔ -3%	国立大学 ↘ -4%	私立大学 ↗ 12%	特法・独法 ↗ 8%
化学	↘ -12%	国立大学 ↘ -12%	私立大学 ↘ -9%	特法・独法 ↔ 2%
材料科学	↘ -21%	国立大学 ↘ -12%	特法・独法 ↘ -22%	企業 ↘ -40%
物理学	↘ -19%	国立大学 ↘ -14%	特法・独法 ↘ -13%	私立大学 ↘ -15%
計算機科学・数学	↗ 10%	国立大学 ↗ 15%	私立大学 ↗ 28%	企業 ↘ -43%
工学	↔ -4%	国立大学 ↗ 7%	企業 ↘ -37%	私立大学 ↗ 27%
環境・地球科学	↗ 38%	国立大学 ↗ 41%	特法・独法 ↗ 43%	私立大学 ↗ 37%
臨床医学	↗ 13%	国立大学 ↔ 0%	私立大学 ↗ 32%	特法・独法 ↗ 52%
基礎生命科学	↔ 0%	国立大学 ↘ -6%	私立大学 ↗ 15%	特法・独法 ↗ 17%

2001-2003年から 2011-2013年への 変化	Top10%補正論文数			
	日本全体	第1組織区分	第2組織区分	第3組織区分
全体	↔ -2%	国立大学 ↘ -1%	特法・独法 ↗ 11%	私立大学 ↗ 9%
化学	↘ -17%	国立大学 ↘ -13%	特法・独法 ↔ 0%	私立大学 ↘ -28%
材料科学	↘ -37%	国立大学 ↘ -36%	特法・独法 ↘ -7%	私立大学 ↘ -48%
物理学	↘ -12%	国立大学 ↔ -1%	特法・独法 ↘ -7%	私立大学 ↘ -7%
計算機科学・数学	↗ 16%	国立大学 ↗ 29%	私立大学 ↗ 37%	企業 ↘ -28%
工学	↘ -10%	国立大学 ↔ -3%	企業 ↘ -44%	特法・独法 ↗ 14%
環境・地球科学	↗ 73%	国立大学 ↗ 76%	特法・独法 ↗ 115%	私立大学 ↗ 17%
臨床医学	↗ 29%	国立大学 ↗ 15%	私立大学 ↗ 63%	特法・独法 ↗ 40%
基礎生命科学	↔ 1%	国立大学 ↔ 4%	特法・独法 ↗ 15%	私立大学 ↗ 5%

【引用元】NISTEP 調査資料-239 阪、伊神、「科学研究のベンチマーキング2015 -論文分析でみる世界の研究活動の変化と日本の状況-

医療系研究支援の実際

医療系研究者の研究時間は少ない

【図表 3-1-3】学問分野別大学等教員の職務活動状況

(A)職務活動時間割合



【引用元】NISTEP 調査資料-236 神田、富澤、「大学等教員の職務活動の変化ー「大学等に
おけるフルタイム換算データに関する調査」による2002年、2008年、2013年調査の3時点比較ー」



研究推進センターの配置場所

研究推進センター
教育・事務棟の15階

研究棟



研究推進センターの全貌

15階

研究推進センター

臨床研究支援センター





研究推進センターの主な機能



医療系研究支援の実際

センター構成員への
インタビューを紹介します。

インタビューの観点



支援対象者(ステークホルダー)の
把握と対応



医療系研究支援の実際

【URA編】

申請URA

先生皆さん礼儀正しく、研究に踏み込んだ指摘に対しても素直に対応して頂ける。

広報URA

学内美観の関係上、張り紙やポスターを掲載するエリアが限られているためか、研究会開催の案内やプレスリリースなど、電子的な学内外の広報サービスで重宝してもらっている。リピーターが多い。

作図URA

口頭ではとても面白い研究提案でも、文字に落としこむと面白さが半減してしまう。そのようなときに、先生の頭の中のイメージを想像して作図するととても喜ばれる。

IR URA

大学研究成果情報の整理や提供だけでなく、アドバイザーやコンサルタントに似た立場で大学執行部や他の事務部門から協力を依頼されることが多い。

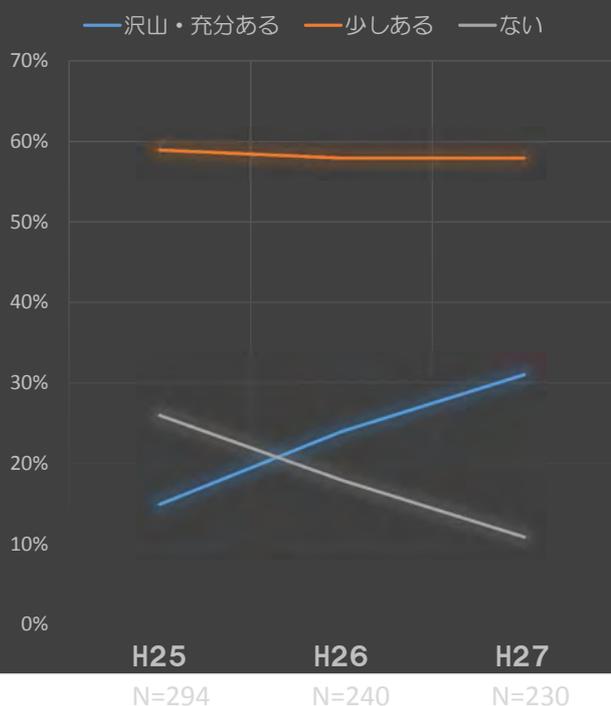
私大セッションでは、事務方からのコメント【事務員編】も紹介します。



センターでJURAが関与する支援

- 各種研究費の申請 ←
- 各種研究費の財務管理
- 研究関連情報提供 ←
- 研究プレスリリース ←
- イメージ図等の作成 ←
- 知財・契約
- 研究倫理
- IR ←

研究時間に対する教員の意識





順天堂大学 研究推進センター

〒113-8421 東京都文京区2-1-1
センチュリータワー北15階

E-mail: JURA@Juntendo.ac.jp
Tel: 03-5802-1590
Fax: 03-5802-1715
Url: www.Juntendo.ac.jp/jura/

講演者紹介

高野 秀一

国立の研究所と大学にて10年ほどの生命系研究活動を経たのち、渡米。その3年間のポスドク勤務中に知った、米国医学系大学の合理的な研究推進支援の数々に感化され、研究者を支援する道を決心しました。帰国後、大学や製薬企業などの新研究所の設備や建築設計を担う民間企業にて研究支援の修行を積み、研究に携わる皆さんが快適に研究できる環境や仕組みを提案できるまでに至りました。

順天堂大学では、この経験とスキルを十分に活かすことができる業務に携わり、現在、4年目をむかえました。これからも学内の研究者が少しでも研究活動に専念できるよう、研究推進センター26名の仲間とともに活動していきます。

(RA協議会第1回年次大会ウェブページより)

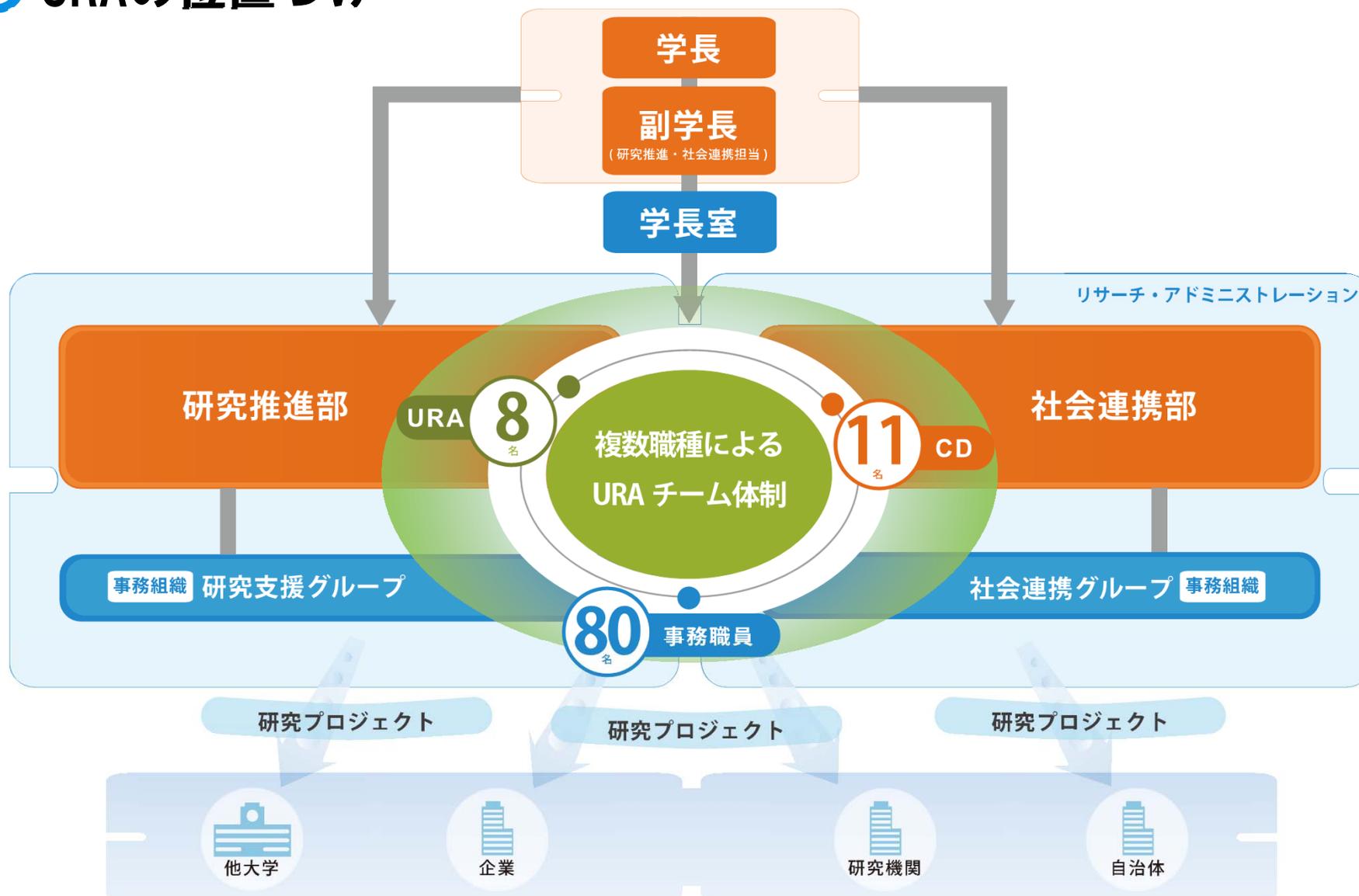
URAとしての文理融合のプロジェクト支援 —私学ならではのイノベーション対話プログラム—

2015年9月2日
関西大学 研究支援グループ 事務職員(URA)
井上 和哉



関西大学

URAの位置づけ



▷ AJICON (アジコン) とは？



ALL JAPAN INNOVATION
by Conversation Contest and Competition

AJICONの実施体制



1 AJICON（アジコン）を通じて商品化につながったもの

1

和菓子 「練り切り」

2015年1月8日発売



従来の練り切りは冷凍した場合、固くなるが、接着タンパク質を添加した練り切りは冷凍後も出来立てに近い食感を維持でき、おいしさ長持ち。

メーカー
浜寺餅 河月堂

2

チョコレート 「ベジチョコ」

2015年2月8日発売



接着タンパク質を活用し、野菜を素材に取り入れた今までに無いとろみのあるフレッシュなボンボンチョコレート。

3

パン 「おいも ぬくもりパン」

2015年5月11日発売



接着タンパク質を使用することによりパンには出せなかった喉ごしがよい食べやすいパンを実現。
お子様からお年寄りの方まで楽しんで食べられる。

メーカー
白ハト食品工業株式会社

4

そば 「KUUDLE 関麺」

2015年5月28日発売



食感のやわらかい他に類のないそば。
高齢者向の食に最適。

メーカー
株式会社おびなた

AJICON（アジコン）の実施プロセス

- 理工系学部の技術シーズをテーマに商学部の学生（約50名）がチームを構成。（10チーム程度）
- 4回のワークショップと12回のビジネスプラン作成演習にて新しい食品を提案。



）プログレスワークショップの概要

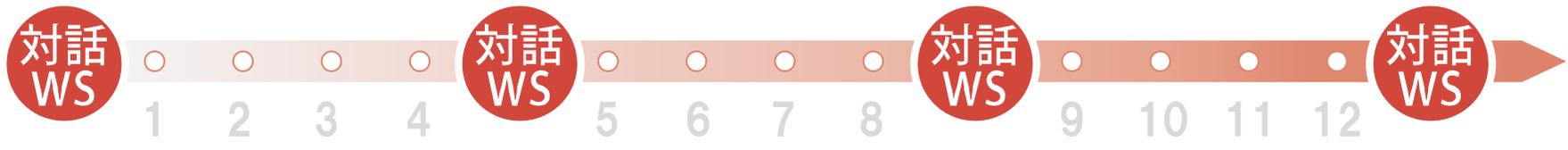
①ビジョナリー ②スタートアップ ③**プログレス** ④ファイナル



- 食品メーカー企業とコラボして試食品を作り提供
- 企業や一般の方から幅広くニーズを調査し、アイデアをブラッシュアップ

ファイナルワークショップの概要

①ビジョナリー ②スタートアップ ③プロGRESS ④**ファイナル**



ビジネスプラン作成演習

- ・ **ビジネスプランコンテスト形式で実施**
- ・ **企業や一般の方の投票によりチャンピオンを決定**

⇒有望なプランは、大学として、教員、URA、CD、事務職員が商品化に向けたサポートを行う。



私学ならではのイノベーション対話プログラム

私学特有の課題

- ・ 参加する教員のエフォートの課題
（教育活動のエフォートも大きく、対話ワークショップへの継続的な参加が難しい）
- ・ 学生へのメリットは何か？

⇒上記を解決しつつ、プログラムの参加者が
メリットを感じ、継続して参加してもらえる
仕組みを作る必要がある。

URAが全面的に調整

課題への対応

参加する教員のエフォートの課題

- ・従来の枠組みを活用し、教育カリキュラムの中で実施することでエフォートの増を最小限に抑えた。
- ・学生の斬新な発想によりシーズの新たな応用展開のアイデアが得られる。

学生へのメリット

- ・教育カリキュラムの中で企業と協働した商品開発の体験ができる。→就職活動にも有利
- ・参画機関からの情報の一元化により、学生に起業関係イベントへの参加を促すことができる。
⇒大阪市シリコンバレーツアー、NEDOのTCPなどへの参加

課題と今後の展望

課題① 他分野への応用展開

**課題② 事業化に向けた企業との
ネットワークの構築**

課題③ 継続して実施し続けること

イノベーション創生センター



本取り組みを平成28年の創立130周年記念事業の一環で設立する「イノベーション創生センター」のひとつの機能として、継続して実施していく予定。

御清聴ありがとうございました。